

ケアマネ
シチュエーションカード

ちょっと 相談いいですか？

私たちの事業所に、新たにケアマネとしてアイさんがやってきた。

慣れない業務にも、持ち前の明るさで頑張る彼女は、
すぐに私たちとも打ち解けた。

そんなある日ー

アイさんが、少し暗い表情で話しかけてきた。

「ちょっと、相談いいですか？」

アイさんは、担当の利用者さんのことで悩んでいた。
私たちは、その利用者さんに対するケアプランを
一緒に考えることにした。

私の担当する
青山さんのケアプラン、
一緒に考えてください♪
よろしくお願いします!!



制作者の想い

介護の仕事に絶対的な正解はありません。同じ事象においても、利用者さまによって必要なケアは異なります。医療的に最適な対応が、ご本人が望んでいる生活や送りたい人生を阻んでしまうかもしれません。そんなとき、あなたならどうしますか…。私たちがこのカードでお伝えしたいことは、正解のケアプランではありません。ケアに関するさまざまな選択肢や視野を獲得していただくことで、利用者さまおひとりおひとりの人生に日々寄り添う皆さまの支えになることを願っています。

監修者のメッセージ



NPO法人千葉西地域包括多職種の会
代表 吉松美津代
(主任介護支援専門員・薬剤師・社会福祉士)

ケアマネジャーの仕事で大切な事は、本人・家族がどうしたいかの希望・意向を聞いて、それを実現することです。そのためには、関係する機関や人と連携を取ることが必要になります。自分で解決しようと抱え込むのではなく、仲間や先輩、包括支援センターや行政に伝え、連絡・調整することが重要です。このカードでは、様々な問題を抱えたバラエティーに富んだ利用者さまの事例を一人で勉強するだけでなく、数人の仲間と掘り下げることができます。知識の整理や後輩育成、社内研修にお役立ていただければ嬉しく思います。相談にいらした利用者さまに「相談して良かった。助かった。」と言ってもらえる支援者になれるよう是非ご活用ください。

※このカードの売上の一部は、NPO法人千葉西地域包括多職種の会を通して認知症支援の会への寄付や活動に使わせていただきます。

私は薬剤師業務のかたわら、2021年に立ち上げた「さいが居宅介護支援事業所」でケアマネジャーとして仕事をしています。薬剤師は薬や医療という分野で専門性に特化していますが、ケアマネジャーは介護分野だけでなく、医療や福祉といった分野についても利用者さまから情報提供や対応を求められることがあるため、専門分野に限らず幅広い知識が必要となります。このカードでは、私と同じ初心者ケアマネのアイさんが担当する利用者さまの事例を通じて、先輩の主任ケアマネや医療、介護の専門職からのアドバイスや情報をもとに、ケアマネジメントのポイントや新しい知識をグループで話し合いながら深めていけるように構成されています。ケアマネ経験の浅い方から長い方まで、ご自由にアレンジしながらご利用いただければと思います。



さいがケアファルマ合同会社
代表 雑賀匡史
(薬剤師・介護支援専門員)

ケアマネシチュエーションカード ちょっと相談いいですか? 第1弾 青山さん編

企画・制作 株式会社プロシードジャパン
お問合せ先 mail@psd-japan.com
ホームページ <http://care-card.net/>
監修 吉松美津代(NPO法人千葉西地域包括多職種の会 代表)
雑賀匡史(さいがケアファルマ合同会社 代表)
アドバイザー 松田謙(美浜そよかぜクリニック 院長)
デザイン 株式会社自由区域
発行日 2022年3月24日 初版

ホームページは
こちら



※注意 カードをコピーしての使用はご遠慮ください。

ちょっと 相談いいですか？

必要人数：1～5人
所要時間：60分～120分

※複数人で実施する場合も1人1セット
必要になります。

ケアマネシチュエーションカードとは

さまざまな状況におけるケアプランの可能性を検討することができるカードツールです。仮想の事例や関係情報がカード形式で示されており、有効なケアプランについて考えることができます。このツールにはプランの正解は示されていません。グループで検討しあい、それぞれの考え方や知識、関連情報などを共有することで、新たな知見や視点を得ることができます。カードの情報から脱線しても構いません。ケアマネジャー同士でも経験や経歴が異なれば、持っている情報やプランの優先順位などが異なるかもしれません。また、ケアマネ以外の別の職種の方と検討すれば、全く異なる情報や知識を交換できるでしょう。学生の方であれば、介護の仕事について理解が深まることが期待されます。ぜひこのツールで、さまざまな方々と積極的に事例検討をしてみてください。

内容物

A 基本情報カード 1枚



B イベントカード 3枚



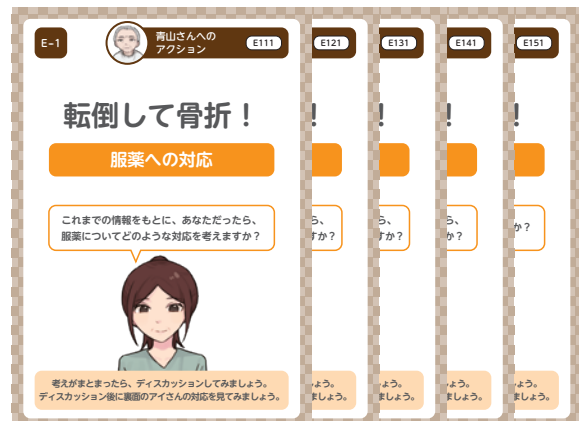
C 利用者トークカード 6枚



D 関係職種担当者コメント・ 利用者支援ネットワークカード 6枚



E アクションカード 11枚



準備

- 使用するカードを準備します。

セット1	or	セット2	or	セット3
A ×1枚		A ×1枚		A ×1枚
B-1 ×1枚		B-2 ×1枚		B-3 ×1枚
C-1 ×4枚		C-2 ×1枚		C-3 ×1枚
D-1 ×4枚		D-2 ×1枚		D-3 ×1枚
E-1 ×5枚		E-2 ×4枚		E-3 ×2枚
合計15枚		合計 8枚		合計 6枚

どれかひとつのセットを使用して、事例検討を行なってください。初めての場合は、セット1からがオススメです。2回目以降やケアマネジャーの経験が長い方が多い場合は、セット2またはセット3がオススメです。セット1に比べて、限られた情報から議論を深めていくことができます。

- スマートフォンやタブレット等、二次元コードを読み込める端末を用意してください。(推奨)
- 筆記用具やメモ用紙を用意してください。(推奨)

カードの活用方法

1. 同じような経歴のケアマネ同士のみならず、経験や職種の異なる方同士、ケアマネ予備軍、医療介護系の学生の方まで、さまざまな方々で行っていただけます。同席する方が異なることで、全く違った議論になります。
2. カードの情報だけでは対応を検討するのに不足がある場合、どういう情報があれば対応を考えられるのか意見を出し合ってみましょう。そうすることで議論が深まります。
3. カードの情報と類似する経験があれば、その時にどのような対応をしたのか、是非他の参加者と共有してみてください。悩みがあれば相談してみるのも良いですね。
4. 司会進行役を置くと、参加者の意見をたくさん引き出せるようになります。
5. 利用者役、主任ケアマネ役、薬剤師役など役割分担をして、カード内容を読む事で雰囲気づくりができます。



カードの説明

A 基本情報カード

利用者さまの基本情報が書かれています。現在の状況はもちろん、生活状況や病歴、使用中の薬の情報なども掲載されています。

〈表面〉

A 青山さん 基本情報 A111



老老介護

介護度・負担割合
要介護3・1割負担

障害程度等級
3級

同居者・主介護者
同居している同い年の妻。他県に住む娘は、少し前まで月に1回は来て外食をしていたが、数ヶ月前から来る頻度が減ってきた。

住居
賃貸住宅(家賃5万円/月)

収入
国民年金、娘(独身)からの仕送り(5万円/月)

職歴
70歳で自営業を閉業。

性格
物静かだが、自分の興味がある事になると積極的に話してくれる。

〈裏面〉

青山さん 基本情報 A112

現病歴
2型糖尿病(10年前に診断されている)、高血圧症、脂質異常症、腰痛症

使用中の薬

- インスリンデグリンデク注(商品名:トレスリーバ注フレックスタッチ*)
1日1回10単位(糖尿病治療薬)
- レバプリド(商品名:シニアゴスト*)
1日3回3錠 毎食前(糖尿病治療薬)
- アムロジピンベシル緩徐錠(5)(先発品名:ノルバスク錠*)
1日1回1錠 朝食後(高血圧治療薬)
- ロスバスタチンカルシウム錠(5)(先発品名:クレストール錠*)
1日1回1錠 夕食後(脂質異常症治療薬)
- ロキソプロフェンナトリウム錠(60)(先発品名:ロキソニン錠*)
1日3回3錠 毎食後(消炎鎮痛薬)
- レバミド(100)(先発品名:ムコスタ錠*)
1日3回3錠 毎食後(胃粘膜保護薬)

利用中の介護サービス
デイサービス(2回/週)、入浴はデイサービスで行っている。

生活状況
利き手側の片麻痺状態で歩行が困難なため、日中はほとんど布団の上で過ごしており、部屋の移動が何とかできる程度である。終日奥さんが介護しているが、最近はスーパーで惣菜を購入する程度。インスリン注射は奥さんが管理し打っている。最近訪問すると、ゴミが捨てられていないなど部屋が散らかっている事がある。

B イベントカード

生活している中で、利用者さまにさまざまなイベントが起こります。アクシデントなどに対して、どのような対応ができるのか、その他のカードの情報を活用しながら検討します。

〈表面〉

B-1 青山さん イベント B111

転倒して骨折!

デイサービス利用中に、ふらついて転倒してしまったため、救急車で病院へ搬送されたご連絡がありました。医師によると、食事摂取不良による栄養不足から、下肢筋力が低下していると。転倒した際に大腿骨を骨折し、手術が必要となり、しばらく入院する事になりました。手術後のリハビリで、5m程の歩行は何とか行えるようになり、退院する事になりました。退院時には、下記薬が処方され、今後も継続的にリハビリが必要だと医師から言われたそうです。

- セレコキシブ錠(100)(セレコックス錠*)
1日2回2錠 朝食後(消炎鎮痛薬)
- テプレノンカプセル(50)(セルベックスカプセル*)
1日2回2カプセル 朝食後(胃粘膜保護薬)

青山さんに対して、今後どのような対応が必要になるでしょうか。その対応の根拠も合わせて検討してください。

まずは、自分の提案をまとめ、ディスカッションしてみましょう。

〈裏面〉

主任ケアマネのコメント B112

様々な観点から検討できていますか?

新たに追加された薬は?

ご家族の介護力のご意向は?

本人の身体状況のご希望は?

食事内容は大丈夫?

青山さんの話を聞いてみましょう。

C 利用者トークカード


起こった事象に対して、ご本人やご家族のお話を聞いてみます。

〈表面〉

C-1 青山さんのお話 C111

転倒して骨折!

薬、大丈夫かな・・・?



〈裏面〉

青山さんのコメント C112

青山さんと、お話をしてみました

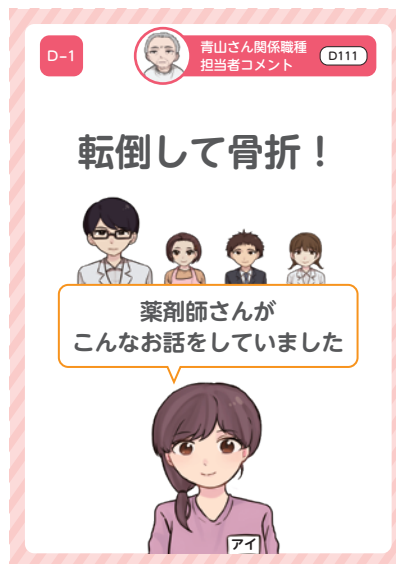
薬、大丈夫かな・・・?

インスリンや薬の事を、奥さんが理解できていないようで、青山さんは心配しています。今までは奥さんがインスリンを打っていたけれど、ときどき打ち間違える事もあるそうです。新しく薬も増え、飲む回数が多いので困っているとのお話されていました。

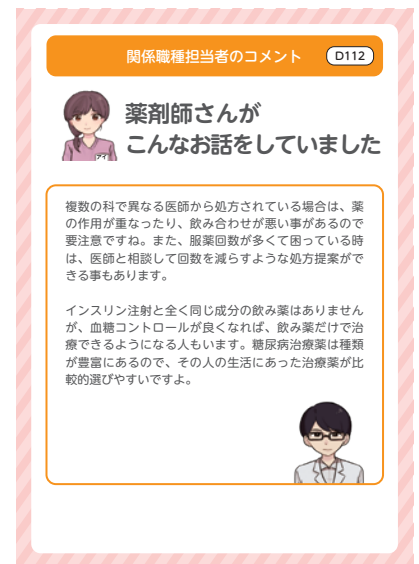
D 関係職種担当者コメント・利用者支援ネットワークカード

利用者さまに関わる職種担当者の方のお話を聞いてみます。また他に関係していたり、支援してくれそうな方がいないか考えます。

〈表面〉



〈裏面〉



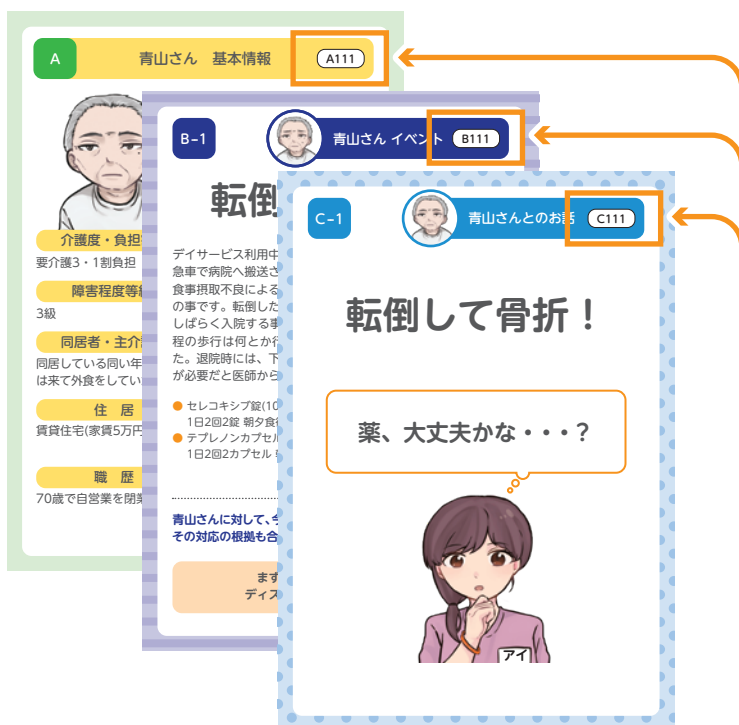
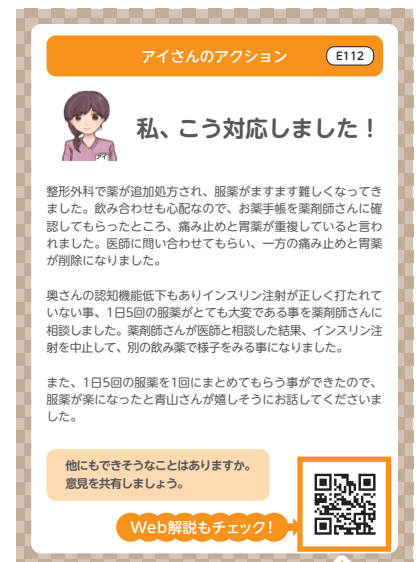
E アクションカード

さまざまな情報やコメントを確認した後、最終的なケアプランを検討し、アイディアや情報を共有します。アイさんの対応はあくまでひとつの事例です。それ以外にもできることを考えてみてください！

〈表面〉



〈裏面〉



Web解説

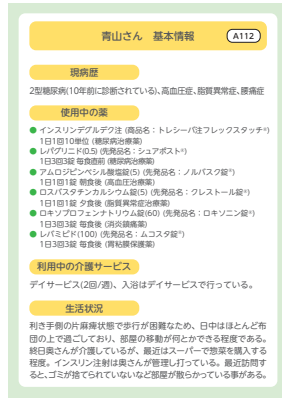
スマートフォンやタブレット端末で二次元コードを読み込むと、Web解説を見ることができます。専門家からのコメント、類似の事例やケアプランのヒント、関連情報などを掲載しています。ゲーム中やゲーム終了後に読んでみてください。

コード番号

全カード両面にコード番号が記載されています。ゲーム中、使用するカードの確認の際に活用できます。

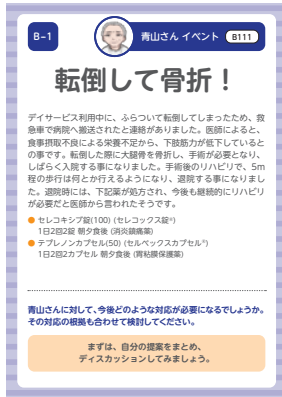
進め方

1.利用者さまの基本情報を把握する。



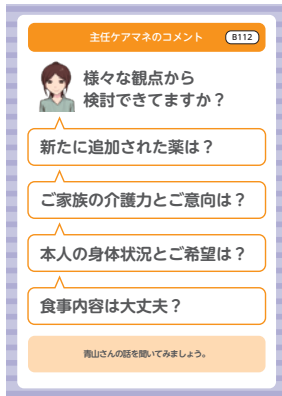
- A** カードの表面を読む
—裏返す—
- A** カードの裏面を読む

2.利用者さまに起こった事象を把握する。



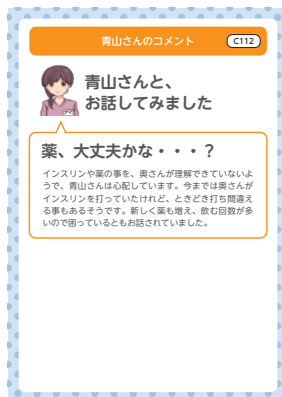
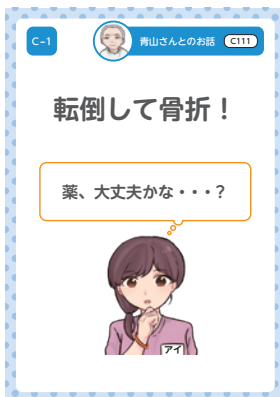
- B** カードの表面を読む
対応を検討する
意見交換する

3.主任ケアマネジャーのコメントを聞く。



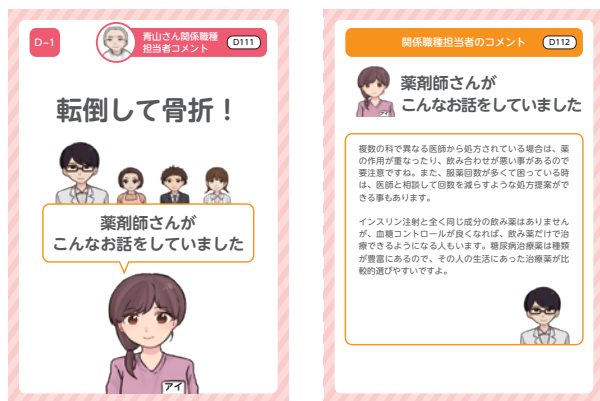
- B** カードの裏面を読む

4.ご本人に話を聞く。



- C** カードの表面を読む
—裏返す—
- C** カードの裏面を読む

5.関係者に話を聞く。



D カードの表面を読む
—裏返す—

D カードの裏面を読む

※セット2・3は、裏面を読んだ後、どの関係者に何をお願いできそうか意見交換を行います。

6.利用者さまへの対応を検討する。

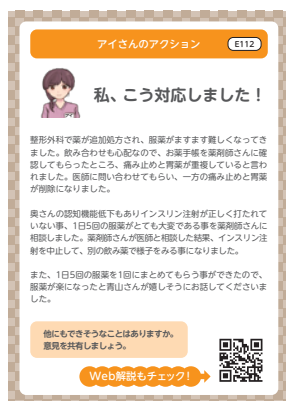


E カードの表面を読む

対応を検討する

意見交換する

7.利用者さまへの対応事例を見る。



E カードの裏面を読む

意見交換する

Web解説を見る

意見交換する

上記の「対応を検討する」「意見交換する」タイミングは、あくまで一例です。参加者の構成や全体の時間に合わせて、タイミングの変更や実施の有無を調整してください。



活用方法や進め方について、より理解したい方向けの情報をご用意しています。右記二次元コードを読み込んでご覧ください。ページは随時更新されます。

